

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 野生生物担当
 内線: 3143

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	野生生物保護事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		針路	93	豊かな環境をつくる	SDGsゴール	15
					分野施策	931247	生物多様性の保全	SDGsターゲット	15-4, 15-5, 15-7,
1 事業概要 野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。 委託料の契約差金の発生等に伴う減額 ア カワウ広域保護管理事業 △500千円 イ オオタカ等保護促進事業 △65千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 1,848千円→1,348千円 イ オオタカ等保護促進事業 生息状況調査(県内188か所) 1,119千円→1,054千円 (2) 事業計画 ア カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施 イ オオタカ等保護促進事業 オオタカ営巣地調査を実施 (3) 事業効果 ア カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。 イ 県内で生息数の少ないオオタカ及びクマタカを、開発行為等から保護するための生息情報を得ることができる。 (4) 補正予算の概要 ア 契約差金の発生に伴う減額 △434千円 イ 協議会開催縮小に伴う減額 △112千円 ウ 経費節減に伴う減額 △19千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費 (細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.9人=8,550千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△565							△565	2,402
現計額	2,967							2,967	

事業内訳書

事業名	野生生物保護事業費		
単位事業名	カワウ広域保護管理事業	予算額	△ 500千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△56	—	協議会開催縮小に伴う減額
旅費	△19	—	経費節減による減額
委託料	△425	—	契約差金の発生に伴う減額
合計	△500	—	

単位事業名	オオタカ等保護促進事業	予算額	△ 65千円
-------	-------------	-----	--------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△56	—	経費節減による減額
委託料	△9	—	契約差金の発生に伴う減額
合計	△65	—	